

研究協力をお願い

昭和大学江東豊洲病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

東京都におけるポリファーマシーの現状調査（多施設共同後方視的観察研究）

1. 研究の対象

昭和大学江東豊洲病院および共同研究施設において 2015 年 12 月 1 日～2015 年 12 月 31 日の期間にご入院された方

2. 研究目的・方法

日本は 2025 年問題をはじめ、超高齢化社会を迎えようとしております。そのような背景で、近年、高齢者への多数の薬の処方（ポリファーマシー）が問題とされております。また、高齢者の場合には、薬物によって引き起こされる副作用（有害事象）の起きる頻度が高くなり、副作用が起きた際には重症になることが多いと言われております。そのため、高齢者に対する不適切な処方や多数の薬の処方（ポリファーマシー）への取り組みが重要な課題となっております。2015 年日本老年医学会より、「高齢者の安全な薬物療法ガイドライン 2015」（http://www.jpn-geriat-soc.or.jp/info/topics/20150427_01.html）が発刊されました。このガイドラインには、「薬剤師の役割」について明記されております。そこで、東京都内の数施設の医療機関（研究組織をご参照ください）において、75 歳以上の高齢者の患者様を対象にポリファーマシーの実態を把握したいと考えております。将来的に、本調査の情報を活用し、ポリファーマシーに対する病院薬剤師のかかわり方について検討したいと考えております。

昭和大学江東豊洲病院および、共同研究施設に保存されている過去の診療情報を再検討します。

研究期間

2016 年 4 月 25 日～2018 年 4 月 24 日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

2015 年 12 月 1 日から 12 月 31 日までの診療情報を本研究に使わせていただくことです。

用いる診療情報：性別、年齢、身長、体重、原疾患、使用している内服薬、臨床検査値（血清クレアチニン値、HbA1c、ワーファリン服用の方のみ PT-INR）、看護必要度

4. 外部への試料・情報の提供

診療情報や検査データを使わせていただくにあたりまして、直接患者様を識別できないような登録番号を用います（匿名化）。データの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。また、得られた研究成果については東京大学医科学研究所附属病院内の、常時施錠された薬剤部内の部門端末内に保管します。

5. 研究組織

東京都立多摩総合医療センター薬剤科	阿部 和史
東京都立広尾病院薬剤科	城田 幹生、南雲 成
杏林大学医学部附属病院薬剤部	関 礼輔
永生病院薬剤科	伊藤 芳弘
有隣病院薬剤科	奥野 靖隆
北里大学北里研究所病院薬剤部	斎藤 雅俊
多摩北部医療センター薬剤科	新倉 卓
日本医科大学附属病院薬剤部	林 太祐
榊原記念病院薬剤科	古屋 順一
東京都済生会中央病院薬剤部	堀井 剛史
昭和大学江東豊洲病院薬局	屋城 由樹
東京大学医科学研究所附属病院薬剤部	安 武夫

6. お問い合わせ先

この研究に関するご質問、また、本研究への診療情報の使用について辞退されたい場合には、下記までご連絡ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

本研究について詳しくお知りになりたい場合には、研究計画書等の資料をご覧いただけますので（但し、他の対象者等の個人情報や知的財産の保護等に支障がない範囲内で）、下記の窓口までお問合せください。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学江東豊洲病院 薬局 氏名：屋城 由樹

住所：135-8577 東京都江東区豊洲 5-1-38 電話番号：03-6204-6000

研究責任者：

所属：昭和大学薬学部病院薬剤学講座 氏名：佐々木 忠徳

研究代表者：

所属：東京大学医科学研究所附属病院薬剤部 氏名：安 武夫